

1 住みよいくらしをささえる

(1) 暮らしとごみ

住みよいくらしができるように、村役場を中心に近くの町や村の人々が協力し合っています。

みなさんの家からも、毎日、たくさんのごみが出ます。みなさんのお父さんやお母さんが小学生のころは、自分の家でほとんどのごみをしまつていました。今でも、自分の家でごみをしまつする時もあると思います。しかし、近ごろは、いろいろな理由から、ごみを決められた場所に出すようになりました。

家から出されたごみが、どのようにしまつされるのか調べてみましょう。

① 家から出されたごみ



ごみおき場

- ごみは決められた場所に出すようになっています。玉川村では水曜日と土曜日にあつめます。

みなさんの家の近くでは、どこにごみおき場があるか調べてみましょう。

ごみ収集車^{しゅうじゅうしゃ}



- ごみおき場に出されたごみは、ごみ収集車で清そう工場にはこばれます。

収集車には、燃えるものと燃えないものを集める車があります。

一度に約3トンぐらいのごみを集めることができます。